

ヒト脳性 Na 利尿ペプチド(BNP)		7456000			
		担当部署			
BNP		生化			
<b>検査オーダー</b>					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダー手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00			
<b>検体採取・搬送・保存</b>					
患者の事前準備事項		溶血による影響を受ける為、採血時に注意が必要。			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	全血	1 紫	EDTA-2K	2	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		冷蔵			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		当日保存のみ(追加検査については、検査室に要問合せ)			
<b>検査結果・報告</b>					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		18.4 pg/mL 以下 A I A - パック C L BNP 添付文書				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	pg/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
0	18.4	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>脳性 Na 利尿ポリペプチド(BNP)は、当初、豚の脳由来の Na 利尿因子として発見されたことからこの名がある。しかしながらその後、BNP は脳よりもむしろ主に心臓から分泌され、心房性 Na 利尿ポリペプチド(ANP) とともに体液や血圧の調節に重要な役割を担うことが明らかになった。</p> <p>ここで ANP が主に心房から分泌されるのに対して、BNP は主に心室から分泌されることから、両者は互いに異なる分泌機序を有すると考えられる。</p> <p>実際、血漿 BNP 濃度は慢性心不全の重症度にしたがって上昇するが、その変化は ANP に比べてより著明である。</p> <p>他方、急性の心疾患、特に急性心筋梗塞における血漿 BNP 濃度については経時的変化に一峰性を示す例と二峰性を示す例があり、心機能の低下は後者でより著名であったとの報告がある。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第 4 版 294</p>				